



「将来の夢」

日野中学校 二年 横山 希実



私の将来の夢は養護教諭になることです。目指し始めた理由は、小学生のころの養護教諭の先生が良い先生でとても印象にのこっているからです。怪我をしたり風邪をひいたりしたときには優しくしてもらったり、いろいろ相談にのってもらったり、お世話になりました。

その経験から私も同じ仕事に就いてそのような人になりたいと思いました。

その養護教諭の先生は、保健室での仕事だけでなく委員会のときに意見をたくさんくださってくださったりもしました。私は養護教諭の先生と同じ健康給食委員会に所属していたので話し合いの中心になって意見をだしたりすることが多くありました。

でも良い意見がなかなか思いつかないときもありました。そのような時には、「こうしたらいいんじゃない？」とアドバイスをしてくださいました。私も手洗い週間を決めていつもより念入りにしたり、豆つかみ大会をしてお箸の正しい使い方を知ってもらったりと健康や食べ物に関することを学べるイベントを考えたりもしてくださいました。保健室

での仕事は一生懸命頑張らなければいけないけれど、他の事もがんばっている先生を見て、何でも出来る先生はすごいと思いました。

養護教諭の仕事は主に怪我の手当てや生徒の体調管理と悩み相談を行うことです。怪我の手当てでは優しく丁寧に処置できるようにしたいです。体調管理では健康観察を見て生徒の体調を把握したり細かい体調の変化に気づけるように頑張りたいです。そして私は風邪をひきやすいためみんなのお手本になれるように自分の体調にも気を使えるようになります。人の体調に気を配る為には自分が健康でいないといけません。ですから、手洗いうがいをしっかり話を聞いてあげて役に立つアドバイスをしたり、安心感を与えられる言葉を返せるように頑張りたいです。

実際に私も小学生のころ友だち関係のことで悩んでいるときに、養護教諭の先生に相談したことがあります。そのときに先生に話してすっきりしました。そして、「こうしたら仲良くなれるんじゃない」と友だちと仲良くなる為の方法を一緒に考えたりしてもらいました。それからは前向きな考え方が出来るようになったし、友だちと仲良くなれました。

だから今度は自分が相談を受けるほうになって悩みを解決したり、話してよかったと思ってもらえるようにがんばりたいです。養護教諭は優しさや思いやりの心も大切ですが心の強さはもっと大切だと思います。

私のようにどうしたらよいかわからず悩んでいる子はきつと心強い助言や、役に立つアドバイスを求めていると思います。

でも今の私は弱い部分がたくさんあります。まずは自分から強くならないと、前向きな気持ちになれるアドバイスができません。だから心の強さをもった自分になれるようにしていこうと考えています。

このように養護教諭の仕事は基本的な怪我などの処置と思いやる心をもつことが大切です。それを身につけられるよう、わたしも意識して過ごしたいです。

私は将来の夢が叶って養護教諭になれば、母校である桜谷小学校で働きたいです。そしてそこで私が小学生のころにお世話になった先生を見習って頑張ろうと思います。怪我や病気の際の手当てを丁寧にきちんとできて、悩み相談を聞き、よいアドバイスが出来るような優しい先生を目指します。そして誰でも入りやすい環境の保健室をつくれるようにします。たくさんの人に養護教諭という仕事のすばらしさを伝えて私が小学生のときに感じたように「養護教諭っていい仕事だな」とか、「私、僕もなりたいな」と思ってもらえるような先生になれるようこれからも努力を続けていこうと思います。

